

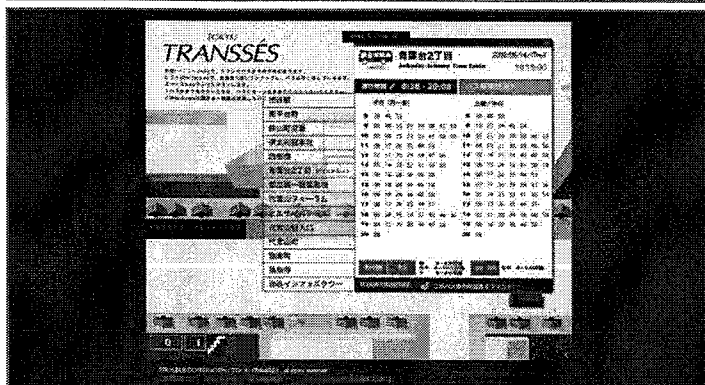
(6) 事例紹介 (デマンド型交通システム)

① 渋谷区 (東京都) : 東急トランセ

人口	196,736 人	モード	路線バス
面積	15.11km ²	法令	道路運送法第4条
人口密度	13,020.25 人/km ²	運営主体	東急トランセ

■ 取組みの背景	
地域と交通の状況 【生活交通の確保】	活用メニュー(制度・協議会等) 【公的補助なし】

■ 実現したサービス
取組み内容 【デマンド型交通システム】、【迂回路方式】 - 代官山循環線は、渋谷駅から南平台町、旧山手通り、代官山駅入口、猿楽町を経て渋谷駅に戻る循環路線である。通常ルートの途中に、目黒区青葉台地区を通る迂回ルート(デマンドルート)があるのが特徴であり、デマンドバスの役目も兼ねている。この間で降車する際は、あらかじめ運転手に申告する必要があり、ルート上の青葉台二丁目停留所から乗車する際は、停留所のコールボックスから通知する必要がある。 - 代官山循環線の運転手は、全員女性が採用されている。 - 運行時間は8:00～20:30(渋谷駅停留所発)で、6～15分間隔と本数は多い。 - 運賃は曜日や利用人数によって変動し、大人は平日150円(2人目以降は100円)、日曜・祝日は100円、小児は曜日を問わず80円である。なお、割引運賃適用時には車両の前面にステッカーが貼付される。



※出典：東急トランセ ホームページ,
<http://www.transses.co.jp/index.html>